

# 第34回定期大会を開催!

**満場一致で運動方針を決定!**

鎌田新体制のもと

「UNION FUTURE ↓2027」

8年目の取り組みがスタート!

7月4日、名古屋 Marriott アソシアホテルにおいて、「第34回定期大会」を開催した。各議案の提起、質疑を経て、議案採決の議決数確認を行い、満場一致で全議案が承認されたことを確認した。なお、今定期大会において4年間JR東海ユニオンを最前線で牽引された尾内裕昭氏が退任し、新たに鎌田中央執行委員長にバトンが手渡された。今回決定した運動方針に基づき、組合員全員参加で組織のさらなる発展を図るべく、中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づき8年目の取り組みが新たにスタートとする。



尾内中央執行委員長あいさつ(要旨)



私たちJR東海ユニオンの組合員は、新幹線在来線ともに、輸送サービスの充実に取り組み、大阪・関西万博開催に伴う旺盛な輸送需要にも応え続けている。中央新幹線においては、沿線各地で工事が本格化し、さまざまな課題や困難に直面する中、粘り強い対応により地域の理解を得ながら着実に計画を前進させてきた。足元において堅調なご利用状況は続いており、2024年度決算では過去最高水準の増収・増益を達成した。これは、鉄道及び医療職場の最前線で、安全・安定輸送の確保という社会的使命を果たすべく、組合員一人ひとりが使命感を持って職務に精励した成果であり、この間の皆さまのご尽力に対し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

激動の時代にある今日、私たちは中期目標「UNION FUTURE ↓2027」を羅針盤として携えながら、常に組合員の声を出発点とし、運動の針路を確認しながら着実に歩を進めてきた。社会変容のスピードに適

り求められるが、私たちが組織として大切にすべき価値観を損なってしまうば、存在意義自体を見失いかねない。取組みの第一歩は、やはり組合員一人ひとりと真正面から向き合うこと。声なき声に耳を傾け、言葉の裏側に秘められた想いを感じ取り、運動に反映していくという「当たり前の営みを繰り返すこと」で、変化に立ち向かえるだけのしなやかな組織力が生まれる。激動の時代だからこそ、労働組合の責務も、存在意義も、可能性もより一層大きく広げたいことを改めて共有したい。

本日、私たちは中期目標「UNION FUTURE ↓2027」に基づき、8年目の運動をスタートさせる。3つの運動領域の土台となるのは、「健全で強固な労使関係」であることは言うまでもない。JR発足後の期間が国鉄の存続期間を超えた今こそ、「将来宣言」に謳われる労使関係の重要性を、体現していく決意を表明する。

「安全の確立」について、鉄道・医療事業を担う私たちにとって、安全は労使共通の最重要課題であることは言うまでもない。しかしながら、2024年には高塚駅構内で発生した関係会社作業員の触車死亡災害をはじめ、感電・墜落等の重大労災が相次ぎ、待避不良も散発しており、課題は山積している。事故・労災の撲滅に向けて、分会が主体

となつて安全衛生活動の充実を図り、「アサーション」を活用しながら安全意識の向上に取り組んでいく。「組織の活性化」について、「みんなでアクション」のスローガンの下、全員参加の組織運営を推進していく。執行委員会を軸に、組織状況報告書を活用し、課題の可視化と共有を進める。また、青年委員会及びユース組合員に対するサポート体制も強化していく。時代・世代・価値観の変化にギャップアップすべく、役員、組合員の負担を軽減しつつ、組織強化に資するような仕組みを構築し、より労働組合らしい取組みに注力できるよう環境整備についても推進する。組合活動に関する情報の展開や共有のあり方を見直すことで、すべての運動領域に前向きな変化をもたらす。運動全体のフラッシュアップにつなげていく。

「ハートフルカンパニーの実現」について、「ハートフルカンパニービジョン ↓2027」を掲げ、親しみやすい会社をめざして労使で議論を重ねてきた。「新しい人事・賃金制度等」の見直しや「育児・介護・治療」に繋がる制度の見直しについて、成果を引き出したものの、制度の定着や残された課題の整理に向けて、会社とは引き続き議論を継続していく。全職場総対話行動で集めた組合員の声を、精緻に整理・分析した上で、あらゆる労使協

**第34回 定期大会スローガン**

「UNION FUTURE ⇒2027」を基盤に

組織の変化を強化につなげ

将来にわたる組合員・家族の幸せを実現しよう!

議に反映していく。また、交渉における主張の根拠とすべく活用している「賃金実態等調査」について、実施方法を変更する予定である。各機関と丁寧な調整を図り、円滑に進めていく。

7月3日には、第27回参議院議員通常選挙が公示された。中央新幹線計画、災害・バリアフリー対応、獣害、運賃制度といった労働者だけの解決が難しい社会的課題に対し、政治の力はやはり必要である。推薦候補者の勝利に向けて、組織一丸となった取組みを要請する。

本定期大会は次期中期目標の策定を見据える重要な一歩であり、かつ、役員交代の節目でもある。人は変わっても、「ユニオン魂」は不変である。次期体制の下でも、「みんなでアクション!」の旗を掲げ、すべての組合員が「ONEチーム」となつて力強く前進していく。